



“

Talendは、AWSとの親和性が高く、ライセンス体系も今後のインフラ拡張がしやすいものとなっています。”

ゴルフダイジェスト・オンライン お客様体験デザイン本部 本部長 志賀 智之氏

GDO

柔軟で拡張性の高いデジタルマーケティングプラットフォームの実現

業界

- ・ リテール

概要

- ・ 本社:日本
- ・ 従業員501 - 2,000人規模

ユースケース

- ・ デジタルマーケティング基盤の最適化

課題

- ・ 現行基盤の性能や今後の拡張のための柔軟性の不足

使用するTalend製品

- ・ Talend Big Data

パートナー

- ・ 株式会社エアー

成果

- ・ 処理時間の短縮
- ・ ログによる対応判断の迅速化とトラブルの未然回避
- ・ 保守運用作業の軽減

2000年に創業したゴルフダイジェスト・オンライン（GDO）は世界最大級のゴルフインターネットポータルのひとつです。ゴルフ関連ニュース、ビデオ、ゴルフ用品の販売、ゴルフレッスンやゴルフコースの予約といったゴルフ関連サービスを多岐にわたって提供しています。同社の運営するポータルサイトには300万人を超えるメンバーが登録されています。

日本最大級のゴルフポータルサイトを運営するゴルフダイジェスト・オンライン。ゴルフ分野に特化した多くのコンテンツやサービスを提供する同社にとって、サービス改善や新サービス実現のため、お客様データの有効活用はビジネスの根幹を支える重要なテーマです。

「登録メンバーの皆様にも魅力的な体験をご提供することは私たちににとって一番最初の目標です。データを有効な方法で活用することは、目標を達成するための大切なプロセスであり、私たちのサービスを支えるものです」と、お客様体験デザイン本部本部長 志賀智之氏は話しています。

既存システムの能力の限界

同社では、2011年よりオンプレミス環境でお客様のデータを統合的に管理するデジタルマーケティング基盤を運用してきました。しかし、サービスやデータソース、データ量が増加し続けると同時に、データ分析も高度化・複雑化する中、処理能力は限界に達しつつありました。

「我々が実施していたデータ分析はどんどん洗練されてきており、今必要なニーズに対応でき、将来的な成長にも備えるための環境への移行が必要だと考えました」と志賀氏は続けます。

Talendが選ばれる理由

検討の結果、2017年12月に、パフォーマンスを柔軟にスケールアウトできるクラウド環境のAWS（Amazon Web Services）へ移行、DWHにはAmazon RedShiftを採用し、同時に従来のETL製品の処理性能不足のために生じていた構成の不具合を解消して統合環境を実現する

ためのETL（Extract/Transform/Load）ツールの刷新を実施しました。Talendのパートナーである株式会社エアーとともに、データ分析の効率を向上させ、将来の問題対応にも備えた新しい基盤を構築しました。

ゴルフダイジェスト・オンラインでは当初、ETL製品に別製品を導入予定でしたが、AWS開発環境と適合しなかったため急遽再選定を行った結果、Talendを選択しました。

「TalendはAWSとの親和性が高く、インフラ拡張に伴うスケールアウトがしやすいアーキテクチャとライセンス体系を持ち、開発生産性も高いと判断し、Talendを採用しました」（志賀氏）。TalendはAmazon EC2のインスタンス上にシステムを構築できるだけでなく、Amazon Redshiftなどのデータベースにアクセスするための専用コンポーネントが提供されているため容易かつ確実にさまざまなデータソースとデータのやり取りができます。

データからの新しい発見と運用の効率化を実現

GDOではTalend Big Dataを活用して、GDOクラブ会員の情報はもちろん、リテール情報、ゴルフ場の予約情報、スコア管理情報などからデータを収集・処理して、1日1回、AWS上のデータウェアハウスへデータを受け渡しています。データウェアハウス上ではBIツールでデータ分析が実行されます。そして、会員ごとにパーソナライズされた情報を作成し、定期的に配信するために役立てられています。

AWSではビジネスでのニーズに応じたスケール対応が可能で、データの処理や分析がスムーズに実行でき、時間内に処理を終えることができるようになりました。「Talend導入前は、処理パフォーマンスの分析が困難でした。Talend導入後はログでの動作状況の把握ができるため、トラブルの未然に回避やパフォーマンスの改善など、対応や判断の迅速化につながっています」（志賀氏）。

さらに、クラウドに移行したことで、保守運用面でのストレスは大幅に解消されました。その結果、デジタルマーケティング基盤の品質の向上や拡張といった、最優先で取り組むべき業務へ、より多くのリソースや時間を振り向けられるようになりました。

TalendはGUIでわかりやすくデータの関係性や処理内容が表現されているので、瞬時にジョブの動きや関連性が把握できます。その結果、ジョブプログラムの保守や開発もスピードアップし、ジョブを統廃合することで、約2,000ジョブから約500ジョブへと削減することができました。

今後について

GDOではパートナーのエアアのサポートの元、データの収集と分析の能力向上に向けての改善を継続していきます。さらに将来は機械学習機能を活用してさらに深いインサイトを得られるような検討したいと考えています。

「今後、我々の部門が担うデータ運用ニーズは増え続けていき、そのために必要な機能をTalendが提供し続けてくれることを期待しています」と志賀氏は締めくくりました。

